

自動車事故報告書の記載要領

【重要】
事故報告書は事実に基づき記入して下さい。事実と違う記入がされている場合は虚偽の報告となる場合があります。

報告書を提出する時点の国土交通大臣の名前を記入する

事故発生日時、場所及びその時の天候を記入（選択）する
イ、時間は24時間制で記入する
ロ、場所は、地番まで記入する
高速道路の場合は、「上り線」、「下り線」の区分と〇〇kpを記入する
ハ、道路名は、国道、県道、市道等具体的に記入する。有料道路等の場合は、その名称も記入する

自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」、「使用の本拠の位置」欄を確認し記入する

記載例

当社〇〇営業所の運転者〇〇〇〇は、平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇〇時〇〇分出社し、始業点呼を受け123号車で〇〇時〇〇分に出庫した。〇〇配送センターにて〇〇を積み、〇〇株式会社へ向けて出庫。2回の休憩を経て〇〇時〇〇分頃に当該地点の交差点に差しかった。右折するため対向車が通り過ぎるのを待って右折を開始したが、横断歩道付近を通り過ぎた時、車体が不自然に揺れたため確認したところ、自転車を後輪で巻き込み転倒させ骨折する負傷を負わせた。

相手方 〇〇〇〇（〇〇才） 重傷（両足骨折）

警察、家族、会社等への連絡、死者又は負傷者に行った処置、病院への収容状況、旅客、積荷等の処置を記入する

警察の調書、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入する
（なるべく簡潔に、明確に）

事業者（使用者）の事故に対する再発防止についての取組について具体的に記入する

事故報告書は3部その自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局を経由して提出して下さい。（提出者控えを含めると4部必要です。）

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書									
国土交通大臣 殿 自動車の使用者の氏名又は名称 住 所 電話番号 年 月 日 提出									
☆発生日時	年	月	日	時	分	☆路線名又は道路名		道 線	
天 候	1 晴れ	2 曇	3 雨	4 雪	5 霧	6 その他			
☆発生場所	都道府県	区市郡	区町村	番地		☆自動車登録番号又は車両番号			
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置									
☆当時の状況									
トラクタ、トレーラの場合は、2段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラとする									
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）									
別紙記入要領に記載例あり(A)									
☆当時の処置									
☆事故の原因									
☆再発防止対策									
※備考									

（日本産業規格A列4番）

発生した事故の種類の区分番号を○で囲むこと
(2種類以上の事故を併発した場合は、被害又は損害の程度の大
きいと思われる方の事故の種類の番号を○で囲むこと)

2種類以上の事故を併発した場合は、その発生順に従い 1、2、3等、数字を□の中に記入する

衝突事故の時のみ記入する

トラクタ、トレーラの場合は、2段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラとする（自動車検査証を見て記入する）

運転者、特定自動運行保安員、乗客、車掌等の合計を記入する

車両に装備された装置を確認し、該当する部分を○で囲むこと

道路法でいう道路上での事故の場合は、1「道路」とし、車庫、営業所、構内等一般交通の用に供しない場所の場合は、2「その他の場所」とする

路肩部分を含む道路(車道と歩道の区分がある場合は、車道)の総幅員を記入する
※歩道は含まない

交差とは、当該自動車の前方30メートル以内に交差点があった場合である

道路交通法で定める警戒標識の設置有無について、○印を記入する

別紙記入要領に記載例あり (B)

貸切旅客の場合は、運送契約の相手方氏名、名称、住所、
旅行業法の旅行業者の場合はその番号を記入する

Gマーク認定について該当するところを○で囲む
(トラックのみ)

トラック事業者からの運送の依頼により貨物運送を行った場合には、「1」を、それ以外は「2」を○で囲む

[illegible]

事故時の速度・距離・スリップ距離を警察の事故の実況見分及び運転者などに確認し記入する
なお、客観的事実がわからない場合は「不明」と記入する

「交差点」は、2以上の道路(歩道を除く)の交わる部分(車両停止線のある場合にあっては、車両停止線を対向車線に延長した線によって囲まれた道路の部分)とする。

死傷事故の場合にのみ記入する

当該事故時に当該自動車を運転していた者について記入する

(イ)「経験年数」は、当該自動車を運転することができる資格を得たときから運転経験の期間とする

(ロ)「本務・臨時の別」は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とする

事故当日の最初の乗務から事故発生までを記入する

「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗していると否にかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は、「有」とし、それ以外は、「無」とする
なお、交替運転者が運転を交替した後に事故があった場合は、当該運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記入する

飲酒運転・酒気帯び運転の場合、当該運転者のアルコール依存症に対するスクリーニング検査の受診の有無を○で囲み受診している場合は受診日を記入する

飲酒運転・酒気帯び運転の場合、該当する飲酒の時点をおで囲み、飲酒の量を具体的に記入する
例 焼酎2合を水割り 500ml缶ビールを1本 など

直近の健康診断を記入する
深夜業務従事者は、半年ごとの健康診断を含む

自動運転の車両運行時に事故が発生した場合、特定自動運行保安員の
情報を記入する

事故について最も責任のあると考えられる運行管理者を記入する
貨物軽自動車運送事業者は、貨物軽自動車安全管理者を記入する

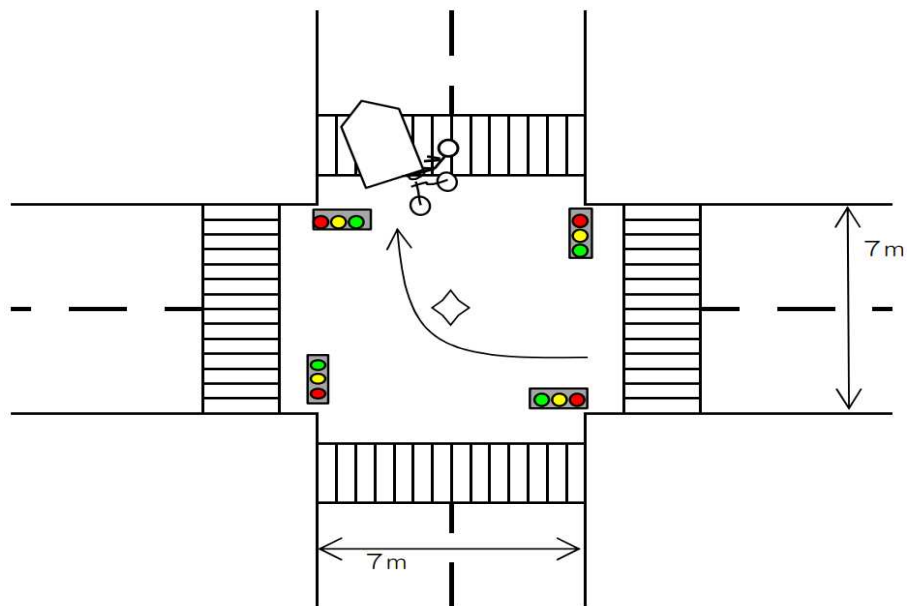
複数の運行管理者が選任されている場合は、統括運行管理者を記入する

「死亡」とは、当該事故発生後24時間以内に死亡したものとする

◆印欄は、事故が第2条第11号及び第12号(車両故障)のみに該当する場合には、記入は不要です。

※別紙記載要領

記入例A 【(表)面「現場の略図」】



※ 略図の最低記載事項

- ・事故時の自動車、歩行者等の位置関係
- ・歩道、車道の幅員
- ・横断歩道の位置
- ・道路標識の位置
- ・一時停止線の位置

記入例B 【(浦)面「当時の運転計画」】

〇〇営業所～〇〇配送センター～国道3号線～〇〇株式会社～
08:30 発 09:20着 13:00着
 10:20発 14:00発

国道3号線～〇〇営業所
 16:20着